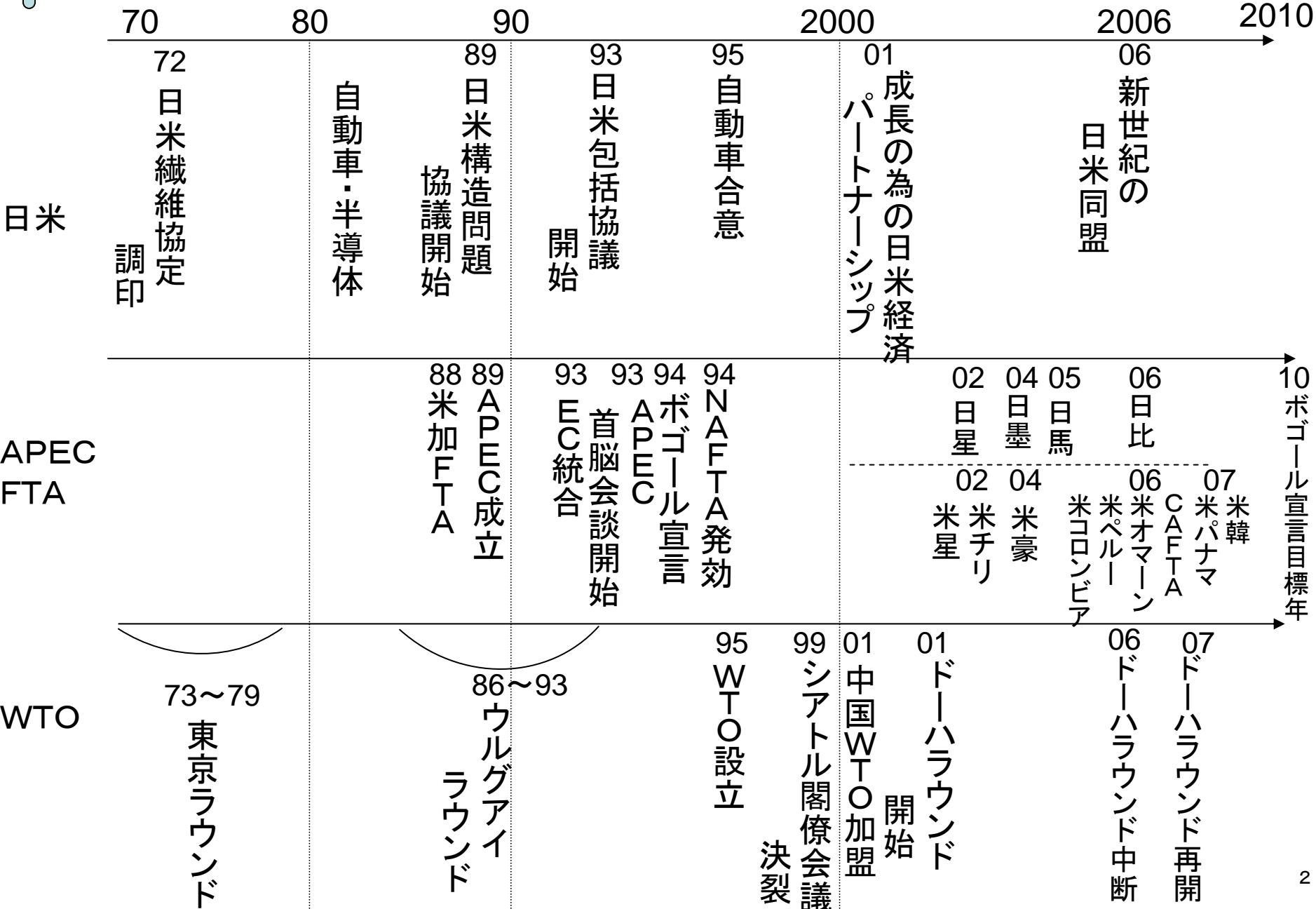


日米経済関係について

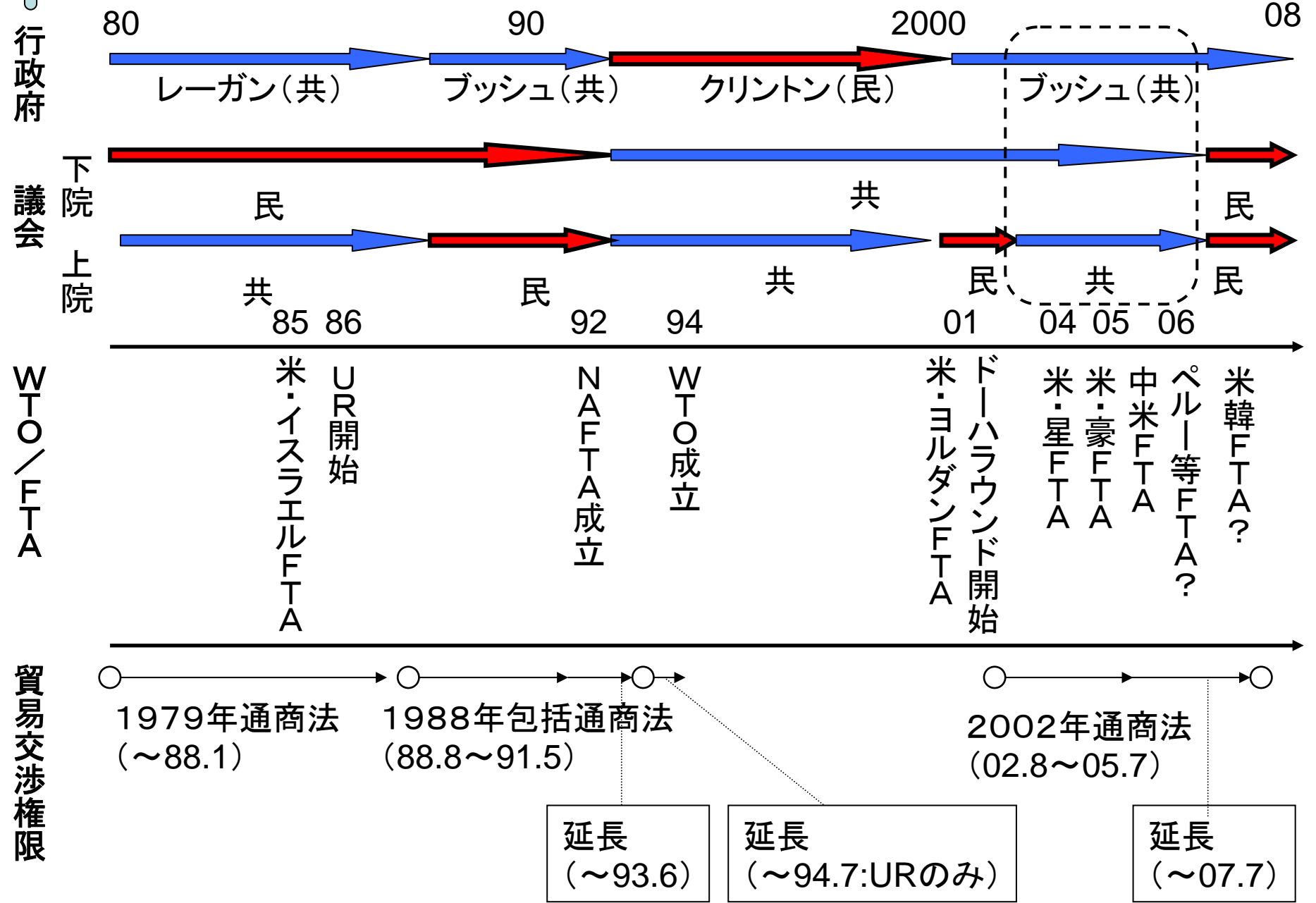
2007年4月

通商政策局米州課

日米関係、地域協力、GATT/WTOを巡る動き

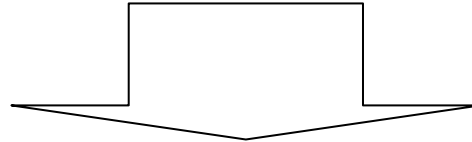


米国通商政策とTPAの変遷



新たな日米経済関係に向けた動き

成長のための日米経済パートナーシップ(2001年6月)

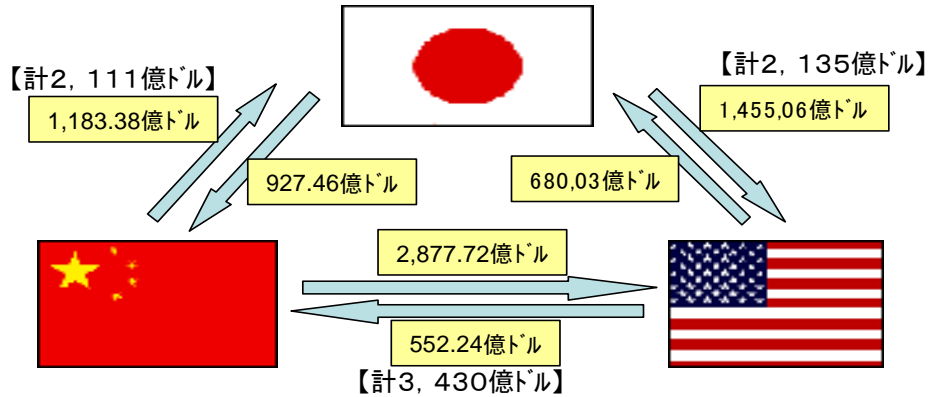


- ・「新世紀の日米同盟」(2006年6月、小泉総理(当時)ーブッシュ大統領)
 - ー「『パートナーシップ』の下で過去5年間にわたって達成されてきた進展を基礎として、互恵的な二国間経済関係を更に深化させ、地域や世界の経済問題に関する協力を強化するための方策を探っていくことで一致。」
 - ー「このような協力の拡大は、成長と経済改革の促進、開放市場の維持・推進、テロ対策と効率的な(資源)移動、知的財産権の保護と取締強化、エネルギー安全保障、良好なビジネス環境を促進するといったことを含む」
- ・安倍新政権下での日米首脳会談(2006年11月)
 - ー互恵的な日米関係の更なる発展と、地域的・グローバルな課題への協力した取組みを確認

日米貿易関係

—日米は双方にとって重要な貿易相手国—

2006年の日米中貿易関係 日本にとって、米国は最大の貿易相手国

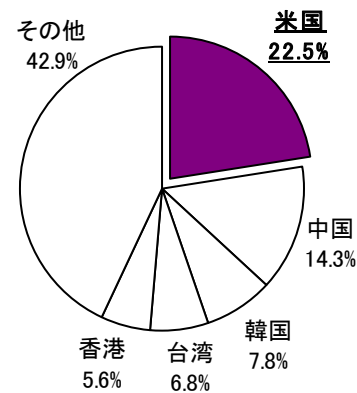


出所：ワールド・トレード・アトラス。日米、日中貿易は日本の統計、米中貿易は米国の統計を使用。
なお、中国に香港は含まれていない。

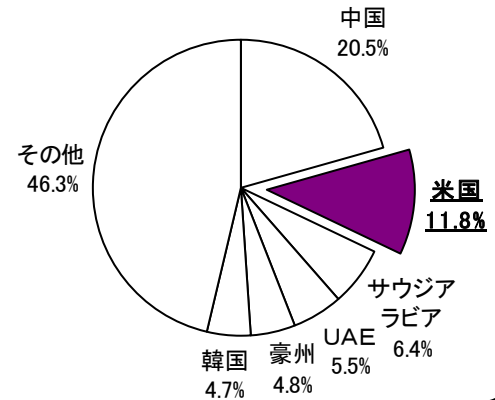
2006年の日本の貿易相手国

米国は、日本の輸出相手国第1位、輸入相手国第2位

日本の輸出相手国(2006年)

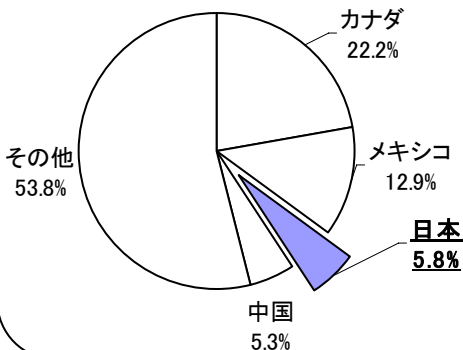


日本の輸入相手国(2006年)

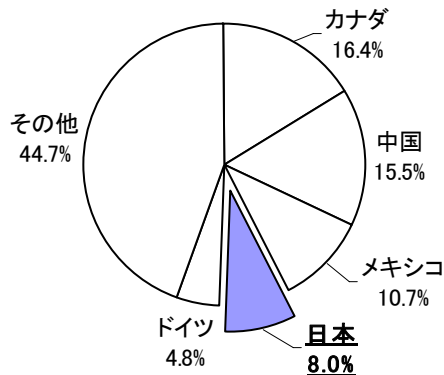


2006年の米国の貿易相手国 米国にとって、日本はNAFTA以外の最大の輸出国

米国の輸出相手国(2006年)

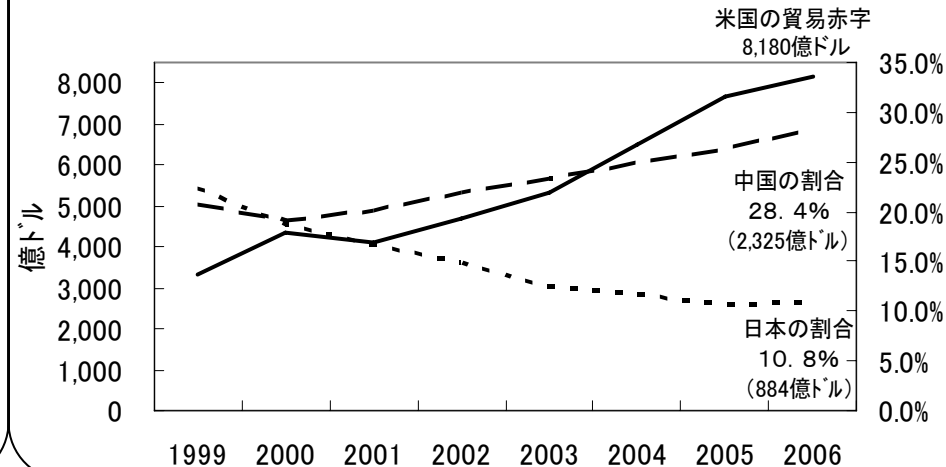


米国の輸入相手国(2006年)



米国の貿易赤字推移

米国の対世界貿易赤字に占める日本の割合は低下



日米投資関係

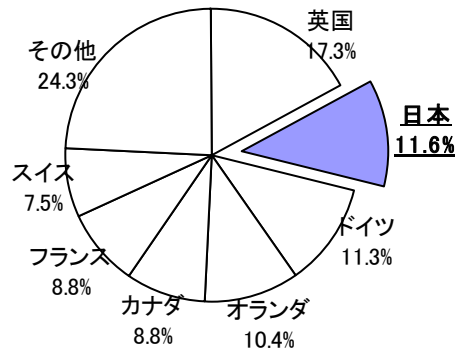
- 米国は、日本にとって最大の直接投資先であると同時に、最大の対日直接投資国
- 投資面での日米関係は米中関係に比して極めて大規模

対米投資

日本は第2位の対米直接投資国

米国の2005年対内直接投資残高
単位: 億ドル

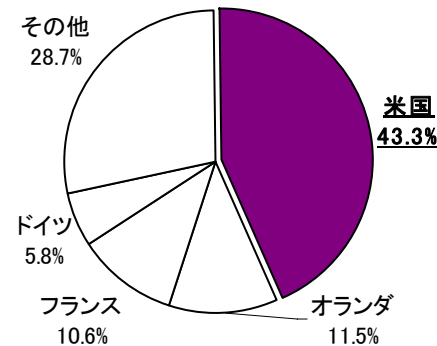
国名	2005年	シェア
英国	2,825	17.3%
日本	1,903	11.6%
ドイツ	1,842	11.3%
オランダ	1,708	10.4%
カナダ	1,440	8.8%
フランス	1,434	8.8%
スイス	1,224	7.5%
その他	3,978	24.3%
合計	16,353	100.0%



対日投資

米国は第1位の対日投資国

対日直接投資残高(2005年末)



(億ドル)

国名	金額	シェア
米国	437	43.3%
オランダ	116	11.5%
フランス	107	10.6%
ドイツ	59	5.8%
その他	290	28.7%
全世界	1,009	100.0%

出典: 日銀国際収支統計

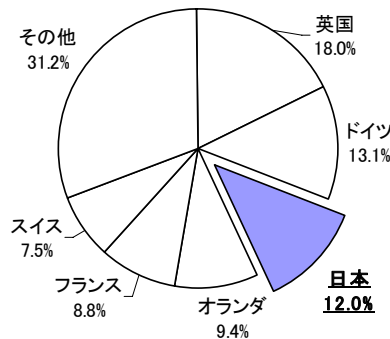
日系企業は、約60万人を直接雇用 (英独に次いで第3位)

在米海外企業の雇用者数

(単位: 万人)

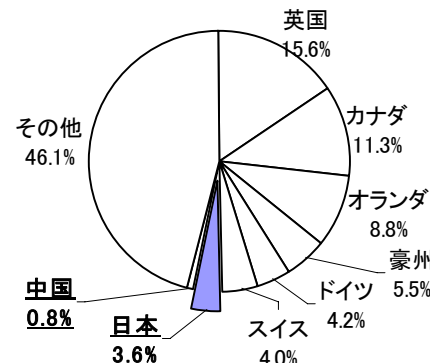
国名	人数	シェア
英国	92.1	18.0%
ドイツ	66.9	13.1%
日本	61.4	12.0%
オランダ	48.1	9.4%
フランス	45.2	8.8%
スイス	38.3	7.5%
その他	159.7	31.2%
合計	511.6	100.0%

出所: 米国商務省



米国の対中直接投資は、対日直接投資の約1/5

米国の対外直接投資残高(2005年末)

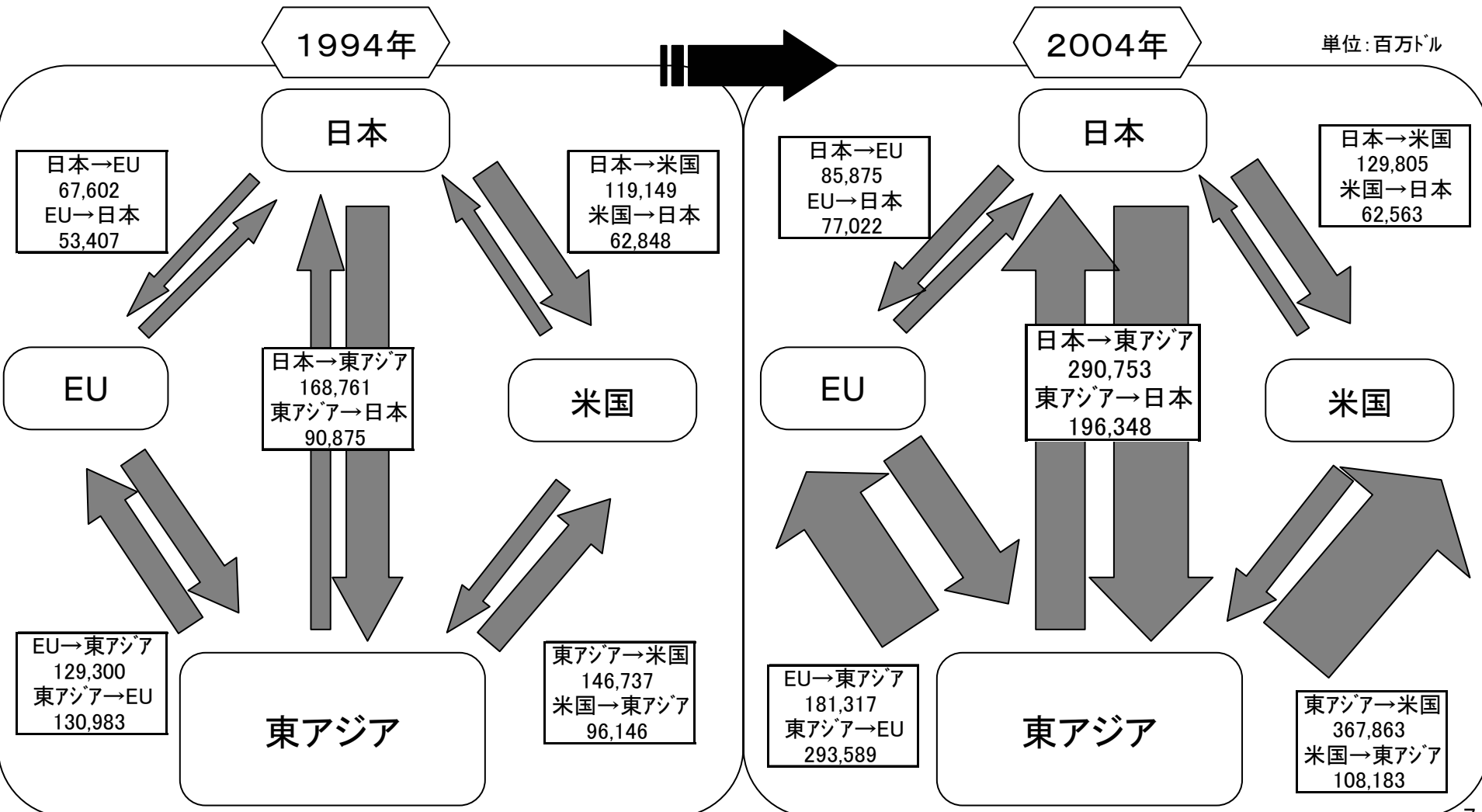


国名	金額	シェア
英国	3,238	15.6%
カナダ	2,348	11.3%
オランダ	1,814	8.8%
豪州	1,134	5.5%
ドイツ	863	4.2%
スイス	834	4.0%
日本	755	3.6%
中国	169	0.8%
その他	9,545	46.1%
合計	20,700	100.0%

出典: 米国商務省統計

アジア太平洋地域の相互依存(貿易)

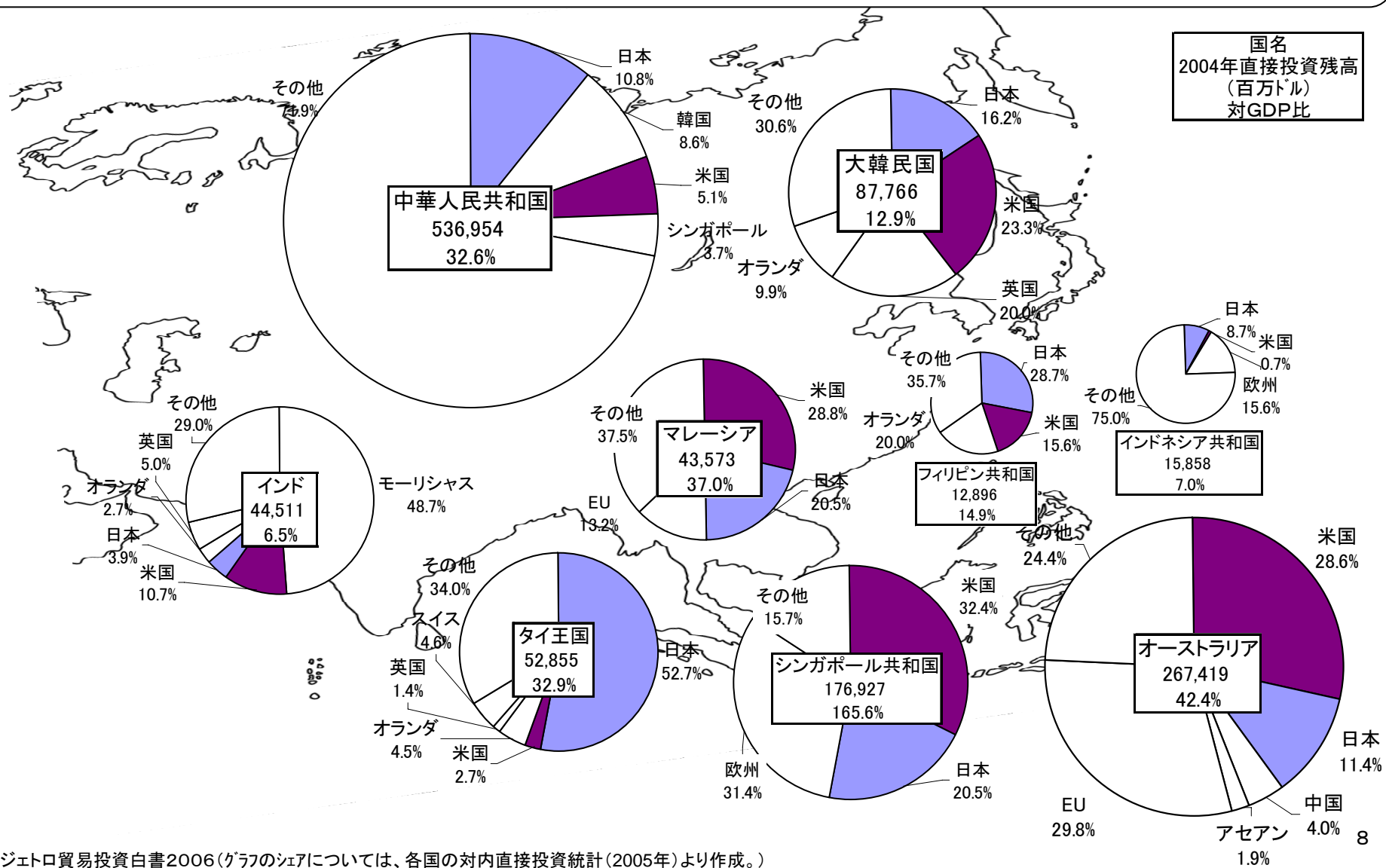
- 東アジアの域内貿易及び対米貿易は大幅に拡大。
- アジア太平洋地域における相互依存が高まっている。



アジア太平洋地域の相互依存(投資)

○東アジアの経済成長には、海外投資が大きな役割。(GDPに占める直接投資残高の割合も高い。)

○特に、日本と米国が主要な投資国。



資料: ジェトロ貿易投資白書2006(グラフのシェアについては、各国の対内直接投資統計(2005年)より作成。)

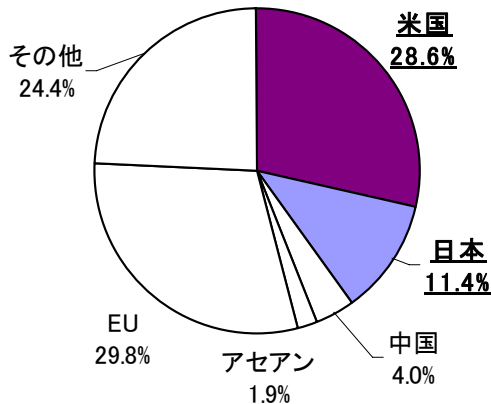
日米関係の重要性 –世界をリードする日米経済–

日米は経済大国

日米のGDPを合算すれば、
世界シェアの約4割。

主要国・地域GDP (億ドル)

国名	金額	シェア
米国	117,130	28.6%
日本	46,693	11.4%
中国	16,494	4.0%
アセアン	7,653	1.9%
EU	122,136	29.8%
その他	99,879	24.4%
合計	409,986	100.0%



出典：国連統計

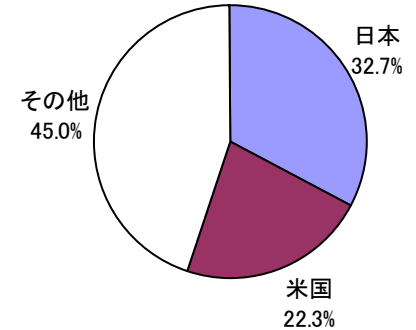
日米はイノベーション大国

国籍別での特許登録件数は、日米両国で約55%を占める。

国籍別特許登録件数

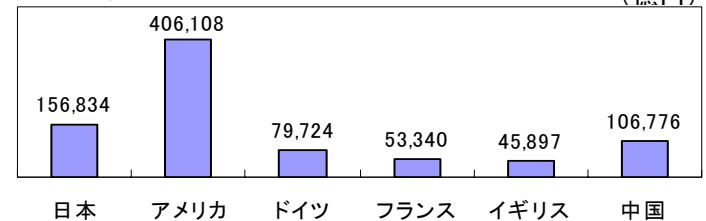
国名	登録件数	シェア
日本	182,543	32.7%
米国	124,506	22.3%
その他	250,914	45.0%
合計	557,963	100.0%

出典：WIPO統計



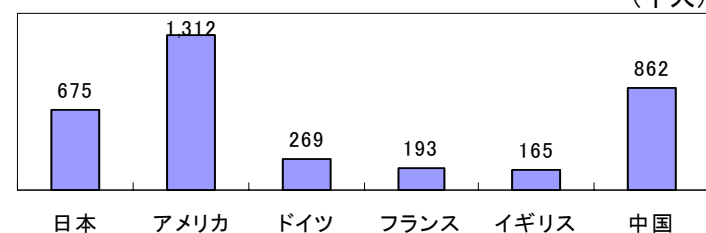
研究費の国際比較では、米国の1位に次いで日本が2位、
研究者数の国際比較では、米国1位、日本3位となっている。

研究費の国際比較



出典：OECD/Research and Development Statistics 2006/1

研究者数の国際比較



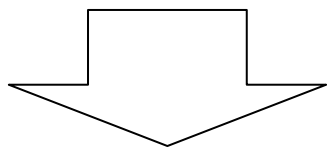
出典：OECD/Main Science and Technology Indicators 2006/1

エネルギー・環境問題

—地球環境分野における日米の役割—

○日米は、世界のエネルギー消費、CO2排出の約1/4、石油・液化天然ガス輸入の約35%を占める。

○APP参加6カ国では、エネルギー消費、CO2排出、石油・液化天然ガス輸入、これらすべて世界の約5割を占める。

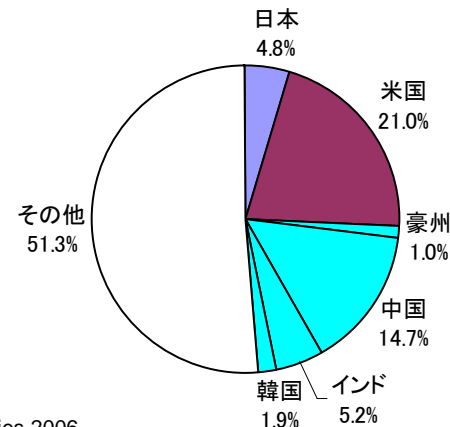


日米がリードして、これらの地域の排出削減を進めるとともに、エネルギーの安定供給に向けた取り組みが必要。

一次エネルギー消費量(2004年)

国名	石油換算百万トン	シェア
日本	533	4.82%
米国	2,326	21.03%
豪州	116	1.05%
中国	1,626	14.71%
インド	573	5.18%
韓国	213	1.93%
6ヶ国計	5,387	48.71%
その他	5,672	51.29%
世界計	11,059	100.00%

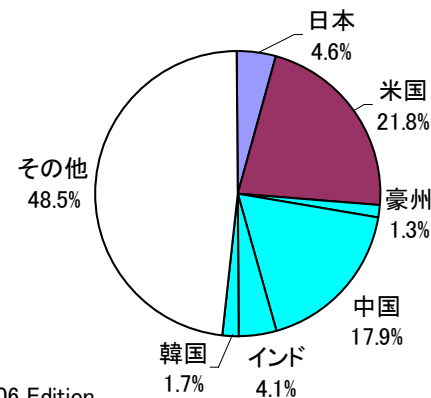
出所: IEA, Energy Balances of OECD, non-OECD Countries 2006



CO2排出量 (百万トン)

	排出量	シェア
日本	1215	4.6
米国	5800	21.8
豪州	354.4	1.3
中国	4768.6	17.9
インド	1102.8	4.1
韓国	462.1	1.7
6ヶ国計	13702.9	51.5
その他	12880.4	48.5
世界計	26583.3	

出典 CO2 Emissions From Fuel Combustion, 2006 Edition



原油・天然ガス液輸入量

国名	輸入量(百万トン)	シェア
日本	206,247	4.82%
米国	576,592	21.03%
豪州	7,786	1.05%
中国	122,720	14.71%
インド	95,867	5.18%
韓国	114,240	1.93%
6ヶ国計	1,123,452	48.71%
その他	1,111,957	51.29%
世界計	2,235,409	100.00%

出所: IEA, Oil Information

